

お話

福島県教育庁義務教育課  
米屋 真由美先生

福島県教育庁義務教育課  
梅宮 真里先生

## 音楽科の特徴

音楽科は「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力」を育成する教科です。

「音楽的な見方・考え方」を働かせるとは「音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などに関連付けること」です。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を図るためには、学習過程や学習活動において、音楽的な見方・考え方を働かせることができるよう、効果的な指導の手立てを工夫することが重要となります。

幼児期に生活する中で、自然の中の様々な音や、遊びの中で生み出される音や音楽を夢中で聴いて、心動かされたり、具体的なイメージをもったりすることで、小学校以降においても自分の経験と音楽が結び付き、深い学びにつながる事が期待されます。

## 幼児期の遊びを通した学び

遊びを通して音の面白さや不思議さなどに気付き、心を動かしています。感じたり、考えたり、イメージを広げたりなど、様々な経験を重ねながら、感性や表現する力等の資質・能力が相互に関連し合い、総合的に発達していきます。

具体的には…

- わらべうたや手遊びなどを通して、歌ったり体を動かしたりする楽しさ、友達と声や動きがそろったり思いを共有して遊んだりする心地よさを味わっている
- 身近にある音の違いや変化への気付き、文化に触れる経験が、リズムや音の響きに対する感覚、楽器の音色や演奏への興味・関心、イメージの広がりにつながっていく
- 聴いたり感じたり友達と関わったりしてきたことで、「やってみたい(意欲)」「次はこうしよう(挑戦)」「こうしたらどうかな(工夫)」と、意欲が高まっていく。そして、遊びが広がり、満足感、充実感や達成感を得ることは気持ちの安定にもつながる

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 歌唱

とのつながり

## 遊びを通した学び

互いに誘い合って集まり…  
「♪あぶくたった、にえたった」  
歌詞からストーリーを感じ  
イメージを共有しながら、  
友達と遊ぶ楽しさ、動きや  
呼吸を合わせる心地よさ  
を感じ取っている。



### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

手をつないだり掛け声を合わせたりなどして、友達と歌う楽しさやリズムに乗る心地よさを感じられるわらべうたや伝承遊び等を取り入れています。歌詞やルールは、発達段階に応じてそれまでの経験を踏まえ、幼児たちみんなで確認し合ったり、つくったりすることもあります。

## 遊びを通した学び

遊びと歌がつながった！  
「♪シャ〜ボンだ〜ま〜と  
んだ〜」シャボン玉が膨ら  
み、飛んでいく。その嬉  
しさから、思わず歌を口  
ずさむ。生活の中で音楽  
に親しむ経験を重ねてい  
る。



### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児は生活経験と歌、歌の世界と遊びを行き来することで、イメージが広がったり、生活や遊びに歌を生かしたりしています。幼児の思いと遊びがつながった時を逃さず、保育者も一緒に楽しむことで、物の名前や自然の様子を表す言葉に触れたり、オノマトペによる表現を知ったり、季節の変化を感じ取ったりしていきます。

## 遊びを通した学び

アルプス一万尺をしていて…  
「もっどスピードアップしよう！」友達と動  
きを合わせながら歌う楽しさ、速度を  
変化させる面白さ、二人で動作がそろ  
う喜び、できた自信や満足感を味わっ  
ている。



## 遊びを通した学び

ジャンケン列車…  
次第に歌声にも気合が  
入る！「勝つのは、どっち？」  
ドキドキわくわくする  
楽しさを味わいながら、  
喜びや悔しさ等の気持  
ちを調整したり、友達  
を応援し認めたりする  
ことができるように  
なっている。



### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

声を出す感覚や声の音色を楽しんだり、一体感の心地よさを味わったりする等、表現の面白さに触れる機会となるよう、音の高低・強弱等を変化させます。勝敗が生じる遊びでは、幼児の気持ちに寄り添い、共感することで、感情をコントロールする等の学びに向かう力の育ちを支えています。

## 遊びを通した学び

発表会で歌いたい曲をみんなで考  
え、どんな風に歌いたいかを話し  
合った。「この歌好き！」届けたい  
気持ち、伝えたい思いがあるから  
こそ「歌うって楽しい！」みんなの心  
が一つになった歌声をホールに響  
かせている。



## 遊びを通した学び

先生の動作を見て真似しながら…  
「♪にんじんさん、さくらんぼさん、  
しいたけさん、ごぼうさん」見て真  
似たり、手指を動かしたり、リズ  
ムをとったりしながら一緒に歌う  
楽しさを味わっている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 協同性
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「自然との関わり・生命尊重」「言葉による伝え合い」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見てとれますが、ここではあえて「歌唱」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分が表したい表現を考え、思いに合った表現をするために必要な技能を身に付け、表現する力
- 歌詞の内容や曲想を自分なりに感じ取り、思いをもって歌おうとすること

## 幼児期の遊びを通した学び

曲想や歌詞の内容に合わせて、イメージを広げながら歌うことを楽しむ。  
特徴的な拍や強弱等を体で感じ取りながら気持ちを込めて歌う。

<b>目標</b>	<p>(知識及び技能) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を身に付けることができる。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 拍や速度、強弱の変化を感じ取りどのように歌うかについて思いをもつことができる。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、体全体で音楽を感じる。</p>			
<b>学習計画</b>	①② (歌唱)	③④ (歌唱)	⑤⑥ (歌唱)	⑦ (本時：歌唱)
	一枚絵の中にある風景や動物を探して楽しく歌う。	「さんぽ」に合わせて歩き、拍を感じながら楽しく歌う。	「森のくまさん」を歌い、先生や友達の声を真似して歌う。	「ひらいた ひらいた」の歌詞の内容から様子を感じ取って歌う。 <small>※丸囲み数字は授業時数</small>

## 【授業展開例】

### 導入

「ひらいた ひらいた」を聴き、開いたりつぼんだりする花の様子について感じ取る。



- ★ (はすの花の写真を提示し) この花は、はすの花です。花の様子に注目して聴いてみましょう。
  - (曲を聴きながら一緒に口ずさんでいる。)
  - (曲に合わせて体を揺らしながら聴いている。)
- ★ 今、聴いた曲は「ひらいた ひらいた」という曲です。はすの花は、どのような様子でしたか？
  - 最初は咲いているけれど、いつの間にかつぼんじゃった。
  - つぼんでもまた開いて咲くんだよ。
- ★ よく聴いていますね。みなさんは、開いたりつぼんだりしている花を見たことはありますか？



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、自然に歌を口ずさんだり、曲に合わせて体を揺らしたりしながら曲想を感じ取っている姿を「本時のめあて」に結び付ける。



### 展開

気付いたことや感じ取ったことをもとに、体を動かしながら曲想を感じ取って歌う。

- ★ 今日、開いたりつぼんだりする花の様子を思い浮かべながら歌いましょう。

### 花が開いたりつぼんだりする様子を思い浮かべながら歌おう。



- ★ 体を動かしながら花の様子を感じて歌っている人もいましたね。いろいろな動きを試しながら歌ってみましょう。
  - 手のひらで花をつくりながら歌ってみたいな。
  - △△さんと◇◇さんが、ペアになって花をつくっているよ。
- ★ 楽しそうに歌っているね。友達のよいところを真似して歌ってみましょう。
  - 今度は、グループになって聴き合いながら歌おうよ。
  - つぼんだときには、みんなで真ん中に集まって小さな声で歌おうよ。

友達のよいところ  
真似して歌おう♪



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に、手遊び歌やわらべうたなどの様々な歌を歌い、友達の声の出し方などよいところを真似して歌った経験から、よりよい歌唱表現の工夫について試行錯誤できる学び合いの場を設定する。

### 発展

開いたとき、つぼんだときの強弱の工夫について歌いながら考える。

- ★ つぼんだときには、声の強さはどう工夫して歌っているの？
  - つぼんだときには、声も弱くするといいよ。
  - 弱いときには、そっと丁寧に歌うといいんじゃないかな。
- ★ 先生は、目をつぶって聴いてみるね。みんな工夫が伝わるように、声の強さや弱さを工夫して歌ってみてね。

花がつぼむところは  
そっと歌いたいな♪



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に伸び伸びと声を出し、遠くに届くような声で歌った経験と比較して、花がつぼんだ様子を表現しようと、弱く、丁寧に声で表現しようとしている姿を見取り、価値付けていく。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次の学習への見通しをもつ。



- ★ 今日、みんなで「ひらいた ひらいた」の花の様子を思い浮かべながら歌ってみました。どのような工夫をすることができましたか。歌った後は、どんな気持ちになりましたか。
  - 丸くなって歌ってみたら、〇〇さんのきれいな声が聞こえてきたよ。
  - つぼんだところは小さい輪になって歌ってみたら、声も小さくなって面白かった。
- ★ 開いているとき、つぼんでいるときの様子をうまく歌で表現することができましたね。

みんなで声の出し方を  
工夫してみよう♪



# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 器楽

とのつながり



## 遊びを通した学び

園の夏祭りで…

「かっこいい！ほくもやってみてみたい！」**「太鼓の音が私の体にも響いてくる！」**リズムに乗って力いっぱい叩いたり友達とタイミングを合わせたり交代したり。和太鼓の音色や響きから祭りの雰囲気を全身で感じ取っている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

地域の祭りや園行事等から得られる経験や感動は特別。季節を感じたり日本文化に触れたりする貴重な機会となります。幼児が感じたことを言葉で伝えたり、考えたことを体で表現したりする喜びや楽しさを味わえるよう、幼児の気付きをしっかり受け止めます。



## 遊びを通した学び

自分なりの方法で…

「みてみて！こんな音する！」**「ほくは、こうしてみた」「サンタさん、来そうだね！」**自分がつくった音、友達が鳴らす音への興味・関心が、好奇心や探究心につながっている。



## 遊びを通した学び

先生に読んでもらった絵本をきっかけに的あて鬼退治ゲームが始まり…**「大きな音が出たら勝ちね！」****「さっきの方が大きかったよ！」**音の違いに意識を傾け、音の大小や響き方を比べ合っている。



## 遊びを通した学び

近所の高校生がクリスマス

マスコンサートに…

「うわあ、大きなラッパ！」**「さわってみたい！」**見たこともない楽器や聞きなれない音色にすっかり引き込まれ、興味・関心が一気に高まる。実際に触らせてもらい、感動が意欲につながっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

小学生はもちろん、中学生や地域の方との交流も大事にしています。園外の人との交流は、本物や珍しいものと出会い、日頃味わえない体験ができる機会になります。人と関わる心地よさや憧れ、感謝する気持ちにもつながります。



## 遊びを通した学び

準備してきたお店がようやく完成！

「**カララ♪カララ♪オープンしましたよ～！いらっしゃいませ～！**」部屋の入口でミュージックベルを鳴らす。楽器の音で、店員や客に開店を知らせる合図を出している。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児なりに楽器による音色や響きの違いを感じ取ったり、音の雰囲気やイメージを遊びとつながりたりできるように、日頃から楽器に触れられるようにしています。「ミュージックベルの音で知らせたらどうか」とそのような幼児の気付きを大切に、遊びに取り入れていきます。



## 遊びを通した学び

アフリカのダンスと太鼓に触れる異文化体験…

「**こんな太鼓、初めて見た！「手で叩くの？」**聴いたら自分もやってみてみたい！見よう見まねで鳴らした音から、見知らぬ国への興味や関心が高まっている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

●言葉による伝え合い

●思考力の芽生え

●豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「社会生活との関わり」「健康な心と体」「協同性」などの姿も見られますが、ここではあえて「器楽」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

●音色に気を付けて演奏したり、友達と合わせて演奏したりする力

●音の特徴を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつこと

## 幼児期の遊びを通した学び

いろいろな楽器の音色に興味をもつ。  
心地よい音色を意識して、楽器を鳴らす。

### 目標

- (知識及び技能) 曲想と音楽の構造との関わり気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な器楽の技能を身に付ける。  
(思考力、判断力、表現力等) 音色、呼びかけとこたえのよさなどや、曲想を感じ取って表現を工夫することができる。  
(学びに向かう力、人間性等) いろいろな打楽器の音色に関心をもち、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、打楽器に親しむ。

### 学習計画

#### ①(音楽づくり)

身の回りの音を探して音のスケッチをする。

#### ②(器楽：本時) ③④

いろいろな鳴らし方を試しながら、打楽器を演奏する。(トライアングル、タンブリン、すず、カスタネットなど)

#### ⑤⑥(器楽)

星空を思い浮かべて「きらきらぼし」を楽器で演奏する。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 導入

トライアングルの音色を聴いてクイズに取り組む。



- ★これからトライアングルを鳴らします。どのような音がするか聴いてみましょう。  
(楽器を鳴らしているときの様子は見えないようにする。①響きを止めずに鳴らす  
②響きを止めて鳴らす ③交互に響かせたり止めたりする ④トレモロ)

- 1番目の音は、ひもみたいのところを持って鳴らしているよ。
- 2番目の音は、楽器をつかんで音を止めているよ。
- 3番目の音は、ひもを持つ手を開いたり閉じたりしているよ。
- 4番目の音は、棒を細かく動かして鳴らしているよ。

聴いたことある！  
私にもできそう♪



- ★トライアングルの音を聴いていろいろな鳴らし方をイメージすることができましたね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

音に関心をもたせる提示の仕方を工夫するとともに、幼児期に周囲のものを叩いて、音の高さを比べたり、響きの違いを感じたりしてきている。よい音を求めて自ら気付く感性を生かして、本時のねらいに結び付ける。

### 展開

いろいろなトライアングルの音の出し方を試す。

- ★①どうすれば①～④と同じ鳴らし方ができるか、実際に試してみましょう。

### いろいろな ならしかたを ためしてみよう。

- ★ペアになってお互いに鳴らしたり聴いたりしながらやってみましょう。友達と試しながら、どのような鳴らし方をすると4つの音が出せるのか探してみましょう。

- 1番は、叩くところで音の鳴り方が変わるよ。
- 4番は、得意だよ。すごく速く鳴らすことができるよ。
- 3番は、楽器が回ってうまく鳴らせないよ。

どうすればくるくる  
回らないのかな♪



- ★先生の鳴らし方や動画を見ながら試してみましょう。

- ひものところをしっかりと持って鳴らしているね。
- 静かなところで聴きながら試してみたいな。
- くるくる回らないようにするのがコツだね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを踏まえ、音との出合わせを方を工夫するとともに、幼児期に得た知識と経験を生かし「こう鳴らすとあの音が出る」という予想のもとに、友達と試しながら、音色と鳴らし方との関わり気付くようにする。

### 発展

「きらきら星」に合わせて、いろいろな楽器の鳴らし方を試す。



- ★①～④の鳴らし方を生かして、「きらきら星」に合わせて演奏してみましょう。

- いろいろな音色があって面白いな。
- 手を開いたり閉じたりしてうまくコントロールできるようになったよ。
- ひもは短くしてトライアングルが回らないようにできたよ。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

教師や友達の鳴らした音を聴く活動を通して、音を比べたり、気に入った音が出せるように挑戦したりと、一人一人の粘り強く取り組む姿を称賛する。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- ★みんなで探したコツをもとに、トライアングルのいろいろな鳴らし方を確認しましょう。

- いい音が出る部分を探して鳴らすといいよ。
- トライアングルがくるくる回らないようにしっかり持つのがコツだよ。
- 響く音とカチカチという音を組み合わせると、面白い演奏ができるよ。

よく響く  
音が出せたよ♪



- ★見たり聴いたりしながら、実際に試すことでいろいろなトライアングルの音を出すことができましたね。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 音楽づくり

とのつながり



## 遊びを通した学び

周囲のものを叩いて遊んでいたら偶然気付いた音の響き…

「たくさん並べたらどうなるかな？太鼓みたい！」身の回りには、似ている音、面白い音、不思議な音、心地よい音…色々な音がたくさん。幼児はそれを「見付ける」名人！

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の興味・関心や気付きや思いを大事にし、自分なりのタイミングで試したり新たに気付いたり感じ取ったりしている姿を見守ります。幼児が始めた遊びとその時期に経験してほしいことがつながるように、楽しんでいることに合わせて素材を用意したり、声を掛けたりします。



## 遊びを通した学び 楽器づくり…

「見て！ギターだよ」「ほくは太鼓！」楽器の形や音の特徴をもとに、材料やその組み合わせ方、何を使って貼り合わせるかなど、これまでの知識と経験を生かし工夫しながら、自分で考えてつくっている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児が捉えている楽器の形や音などの特徴を、その幼児なりのイメージで表現できるように手助けします。日頃から廃材集めをしたり、遊びの様子を見ながら図鑑や実物を用意したりして、選んだり試したり確認したりできるようにしています。



## 遊びを通した学び

雨の園庭で傘を差し…「雨の音がする！」ぽつん、ぽつん、傘をはじく雨音を傘から伝わる振動とともに感じている。幼児は諸感覚を働かせ、心と体で自然の中にある音の面白さを感じ取っている。



## 遊びを通した学び

年長さんがつくってくれたマラカス…

「ほくとOOちゃんの音、全然違う！」「どんぐりの音はコトコトだ！」比べ合いながら容器の種類や振り方による音の違いを発見している。幼児は「気付く」名人。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

廃材や季節の自然物を使って音遊びを楽しむことができるように、発達段階や時期に応じて材料を用意し、幼児の気付きや発見の喜びを支えます。オノマトペでの表現により、音の違いへの関心や言葉で表す楽しさにもつなげています。



## 遊びを通した学び

両手で「バンバン！」、足踏み「とんとん！」、おなかを叩いて「ぽんぽんぽん！」、自分の体も立派な楽器！特徴に合わせて、動作や力加減を考えたり、先生の真似（模倣）や繰り返したりすることを楽しんでいる。



## 遊びを通した学び

容器に水を入れたり出したり…「ねえ、聞いて！水が出てくるときの音、面白いよ！」「ほんとだ！ぽくは振ってみたよ！」気付いた音を伝え合いながら、いろいろな音をつくりだす。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 自然との関わり・生命尊重
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「思考力の芽生え」「自立心」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「音楽づくり」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 身の回りにある音や素材から、自分の好きな音を見付けたり、つくったりして表現する力
- 音遊びを通して、身の回りの様々な音の特徴に気付き、音楽づくりの発想を得ること

幼児期の遊びを通した学び

身の回りの自分の好きな音を見付け、素材を生かして楽器をつくる。  
自然の中の音や、偶然見付けた音の面白さに気付く。

<b>目標</b>	<p>(知識及び技能) 声や身の回りの音などの特徴に気付き、音楽表現を楽しむために必要な音楽づくりの技能を身に付ける。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 拍やリズムを感じ取り思いをもったり、音楽づくりの発想を得る。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、歌で呼びかけ合う楽しさを味わう。</p>			
<b>学習計画</b>	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>①②(歌唱)</p> <p>「アルプス一万尺」「なべなべ」など、わらべうたを歌いながら、声や動きを合わせて遊ぶ。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>③④(歌唱・音楽づくり)</p> <p>「やまびこさん」を歌いながら、強弱を工夫し呼びかけ遊びを行う。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>⑤⑥(本時：音楽づくり)</p> <p>拍に合わせて、友達と言葉をつなげて、歌でお話をして遊ぶ。</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">※丸囲み数字は授業時数</p>	<p>①②(歌唱)</p> <p>「アルプス一万尺」「なべなべ」など、わらべうたを歌いながら、声や動きを合わせて遊ぶ。</p>	<p>③④(歌唱・音楽づくり)</p> <p>「やまびこさん」を歌いながら、強弱を工夫し呼びかけ遊びを行う。</p>	<p>⑤⑥(本時：音楽づくり)</p> <p>拍に合わせて、友達と言葉をつなげて、歌でお話をして遊ぶ。</p>
<p>①②(歌唱)</p> <p>「アルプス一万尺」「なべなべ」など、わらべうたを歌いながら、声や動きを合わせて遊ぶ。</p>	<p>③④(歌唱・音楽づくり)</p> <p>「やまびこさん」を歌いながら、強弱を工夫し呼びかけ遊びを行う。</p>	<p>⑤⑥(本時：音楽づくり)</p> <p>拍に合わせて、友達と言葉をつなげて、歌でお話をして遊ぶ。</p>		

【授業展開例】

導入

わらべうたや「やまびこさん」のように歌で呼びかけ合う楽しさを感じ取る。

POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期にしていた手拍子やボディパーカッション等の経験を生かして、常時活動の中でリズムを真似たり、自分の好きな音、心地よい音に気付いたりするようにして、本時への学習に結び付ける。

★友達の声や体の動きを真似したり、合わせたりして、わらべうたや「やまびこさん」が上手に歌えるようになりましたね。今日は、先生や友達の真似をしながら歌でお話をしてみましょう。

●わらべうたや、やまびこごっこは楽しかったな。

うたで おはなしを してみよう。



展開

先生や友達の言葉を真似しながら歌う。

★先生の言葉を真似してみてね。

- ★みなさん ●(全員で) みなさん
- ★こんにちは ●(全員で) こんにちは
- ★なながすき ●(全員で) なながすき
- ★りんご ●(全員で) りんご

自分の好きな音にしたいな♪



POINT

幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に諸感覚を使って様々な遊びに取り組んできた経験を生かして、先生の発する言葉や、声の音色やリズムを聴き取り、面白さを感じながら真似しようとしている姿を称賛する。



★今度は友達同士で、真似をしながら歌でお話をしてみましょう。自由に場所を使っていいですよ。

発展

言葉を真似たり、お話をつなげたりしながら楽しむ。

★今日は、先生が呼びかけるので、それにこたえてみましょう。やってみますね。

- ★○○さん ●はあい
- ★あそびましょう ●いいですよ
- ★○○さん ●はあい
- ★ななが好き ●くるま

うまくつながったら嬉しいな♪



POINT

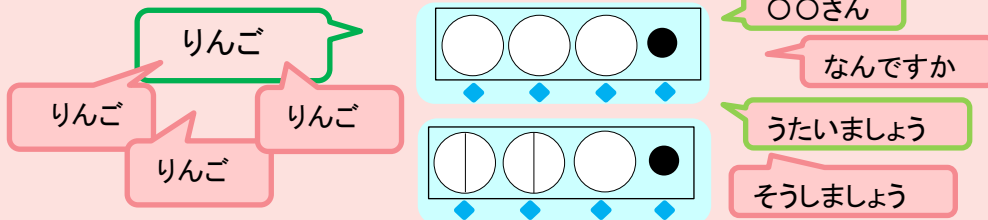
幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に自ら気付き、好きなものを見付ける活動に取り組んだ経験を生かし、自分の思いや考えを表現することができるように、伝えたい言葉やリズムをカードを用いて可視化する。

- ・・・4分音符
- ・・・4分休符
- ◆・・・拍

友達を真似て

友達とつなげて



まとめ

本時の学習をまとめ、次の学習への見通しをもつ。

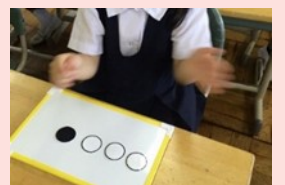
★今日は、先生や友達の言葉を真似たり、ペアになってお話をつなげたりしながら歌でお話をしました。楽しかったことを教えてください。

- 友達と続けて歌うことができて嬉しかった。
- どんどん歌でお話がつながって楽しかった。

歌でお話を もっと続けたいな♪



★どんどんお話がつながって歌でお話をするのが楽しくできましたね。



# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 音楽科 鑑賞

とのつながり



**遊びを通した学び**  
BGMで本物気分！  
「見て、私たち本物のアイドルで〜す！」「なりたいもの」に近づくように友達と考えやイメージを伝え合い、動きを考えたり、衣装をつくったりすることで本物になりきる楽しさを味わっている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児の興味・関心や遊びの様子に合わせて音楽を用意します。BGMにより雰囲気や気分も変わり、新たな試行錯誤も生まれます。音楽は常に流すのではなく、機器には「さいせい」「ていし」等の印を付け、必要ときに幼児が自分たちで準備して操作したり、使いたい音楽を流したり、他の曲をかけたりすることができるようにしています。



## 遊びを通した学び

準備運動や体操は、音楽に合わせて…

「ワンツースリーフォー！」リズムに乗りながら体を動かすこと、音に合わせて友達と両手タッチのタイミングが合うこと、みんなの掛け声がそろそろこと…様々な楽しさ、心地よさを感じ取っている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児は体を動かすことが大好きで、好きなことは自分からどんどんやりたがります。友達と動きや掛け声がそろそろことの心地よさを感じ取ると、繰り返し楽しめます。心と体を解放して楽しめるよう、興味や時期に合わせて選曲しています。



## 遊びを通した学び

園から見える電車や踏切をつくって「間もなく電車が通ります！」カンカンカンカン…先生が流してくれる効果音により、遊びの世界やイメージが一層広がる。



## 遊びを通した学び

音楽を聴きながら…

「♪…魔女はだれ？」リズムや速度、調の変化を感じ取りながら友達とのやり取りを通して、スリル感を味わったり臨機応変に行動する面白さを楽しんだりしている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

歌を聴きながらストーリーをイメージし、遊び歌本来の楽しさにつながるよう、ルールを確認したり工夫した動きを紹介したりします。広さによって動きや運動量も変わるので、時期やねらいに応じて活動場所を工夫しています。



## 遊びを通した学び

優しくトントンされながら…「先生の声安心する…zzz」楽しかった今日の遊びを思い浮かべながら続きは夢の世界で…先生が歌う子守歌やオルゴールのBGMで昼寝タイム…。



## 遊びを通した学び

年長さんのショータイム…音楽に合わせてリズムカルに踊ってみせる5歳児。4歳児は、その姿に憧れの気持ちを抱いたり、曲や衣装などに興味・関心をもって真似したくなったりして「すてき！私もやってみたい！」と声を上げている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 思考力の芽生え
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「協同性」「言葉による伝え合い」などの姿も見とれますが、ここではあえて「鑑賞」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く力
- 音や音楽に関心をもち、音や音楽に合わせて体を動かしながら、体全体で音楽を楽しむこと



## 幼児期の遊びを通した学び

人やものになりきって、想像したり、イメージを広げたりして楽しむ。  
音楽に合わせてのびのびと体を動かし、運動する。

### 目標

- (知識及び技能) 曲想と音楽の構造との関わりに気付くことができる。  
(思考力、判断力、表現力等) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だし、味わって聴くことができる。  
(学びに向かう力、人間性等) 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら音楽活動に取り組み、想像しながら聞かせる楽しさを味わう。

### 学習計画

#### ①(歌唱)

互いの歌声を聴き合いながら「アイアイ」を歌う。

#### ②③(鑑賞：本時)

こねこが楽しく踊る様子を想像しながら、お話を考え「おどるこねこ」を聴く。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 導入

ねこや犬の様子を想像しながら「おどるこねこ」を聴く。



★教師

- ★どんな動物が出てくるでしょう。(クイズ、部分鑑賞を取り入れてもよい。)
  - ねこの鳴き声みたいなものが聞こえるよ。
  - 犬が吠えているみたいだよ。
- ★これから聴く曲は、アンダソンがつくった「おどるこねこ」という曲です。出てくるねこは、どんなねこなのかな。想像しながら聴いてみましょう。
  - 踊ることが好きなねこかな。
  - 音楽が好きなねこかな。
  - いたずらっこなねこかな。最後は犬に吠えられるから。
- ★いろいろ考えながら聴いていますね。みんなの考えを生かして、お話をつくってみましょう。

動物になりきって聴いてみたいな♪



●児童

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、動物の鳴きまねクイズをしたり、ねこや犬の鳴き声がする部分の演奏を聴かせたりすることで「本時のめあて」に結び付ける。

### 展開

音楽を聴いて、簡単なお話をつくって友達と話し合う。

### こねこのお話をつくって、たのしくきこう。

(「はじめ・なか・おわり」と板書、ペープサート等の活用、タイムバーの表示)

- ★曲の「はじめ」のときの、こねこは何をしているのかな。
  - 遊ぶことが好きなこねこは、「はじめ」は音楽に合わせて楽しそうに踊っている。
  - こねこの友達がいて、じゃれ合っている。
- ★曲の「なか」のときの、こねこの様子はどうでしたか。
  - 面白いものを見つけて、こねこが追いかけているみたい。
  - 何かにじゃれているのかな。
- ★曲の「おわり」は、何が起きますか。
  - 犬がこねこを見つけてワンワンと吠えている。
  - 犬が吠えたときに、こねこたちはすぐびっくりしているはずだよ。
  - びっくりして、こねこは遠くに逃げちゃったみたい。

いろいろなお話が思い浮かぶね♪



●児童

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

ねこや犬と遊んだり、自然の中で鳥の声を聞いたりした体験を思い起こし、こねこが踊っている様子やじゃれ合っている様子を思い浮かべ、音楽と関連付ける。

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

子供がつくったお話を板書して、可視化することで、聴いて感じたことを動きにして表現するときの手掛かり(キーワード)にする。

### 発展

お話をして考えたことを、体やペープサートの動きで表現しながら聴く。

こねこがジャンプしているように感じたよ♪



●児童

- ★みんなが想像したのは、どんなこねこなのかな。みんなが考えるこねこの様子をペープサートや体の動きで表現してみましょう。
  - じゃれ合っているところを友達とやってみたいな。
  - 踊ることが好きなこねこだから、くるくる回ってみよう。

#### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして、ねこや犬の様子を動きにして、音楽を聴いて感じ取ったことを表現できるようにする。その際、音楽と一体感を味わいながら想像力を働かせて聴いている姿を価値付けていく。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次の学習への見通しをもつ。

みんなの気に入ったところが分かったよ♪



●児童

- ★今日は、アンダソンの「おどるこねこ」を聴いてみました。この曲の気に入ったところは、どのようなところでしたか。
  - 楽しく踊っていたのに、急に犬が吠えて逃げていくところが面白かった。
  - こねこが遊ぶ様子が音楽と合っていて気に入りました。



お話

愛媛大学教育学部附属幼稚園

村上 香織先生

愛媛県教育委員会義務教育課

赤松 彩子先生

## 図画工作科の特徴

図画工作科は、表現及び鑑賞の活動を通して「造形的な見方・考え方」を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育む教科です。

図画工作科の学習では、児童一人一人の創造性を大切に、造形的な創造活動を目指しています。「造形的な見方・考え方」とは、「感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと」です。感性や想像力は、創造性を育む重要なものと言えます。形や色などの造形的な視点は、図画工作科ならではの視点です。児童が活動や作品をつくりだすことは、自分にとっての意味や価値をつくりだすことであり、同時に自分自身をもつくりだしていることであるという、図画工作科で大切にしていることも示しています。

児童は幼児期から遊びの中で自分の感覚や行為を手掛かりに、身近な人やもの、自然などの環境に自分から働きかけたり、働きかけられたりしながら学んできています。小学校においても、幼児期の学びを踏まえ、児童に本来備わっている資質・能力を一層伸ばしていくことが大切です。

## 幼児期の遊びを通した学び

心を動かす出来事などに触れて感性を働かせる中で、様々な材料の特徴や表現の仕方に気づき、感じたことや考えたことを自分なりに表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだりし、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになります。

具体的には…

- 砂や水、草花などの身近な自然に全身で関わり、感触の心地よさや思い通りに形をつくる楽しさを味わっている
- イメージしたことを実現するために、自分で箱やカップなどの材料を選んで組み合わせたり、絵や文字をかいたりして、表現することに満足感を味わっている
- 作成物を使って遊ぶ中で、なりきる楽しさや友達とつながる喜びを味わっている
- 友達と一緒についたり、表現したものを見せ合ったりすることで、自他の表現のよさに気付いたり、もっと表現したいという意欲をもったりする

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 図画工作科 造形遊びをする活動

とのつながり



## 遊びを通した学び

砂場で工事中…

「長い川をつくるには、ここを掘ればいいね」と火山や川ができるイメージをもって掘り進めようとしている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児一人一人の話をよく聞き、表現したいもののイメージを共感的に受け止めます。幼児が友達と協力しながら、イメージしたことが形になっていく喜びを味わうことができるよう、保育者はイメージをつないだり、仲間の一員として活動したりします。



## 遊びを通した学び

砂場に水を貯めて…

「水を入れると、掘るのが大変だね」と水と砂が混ざると、重くなることに気付いている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

砂場に水を入れやすいように、といやパイプ、バケツを用意します。幼児のつぶやきを捉えて、気付きや疑問を一緒に確かめることが、砂や水のずっしりとした重さや感触、砂・水の性質などに実感を伴って気付くことにつながっていきます。



## 遊びを通した学び

雪が積もった日…

「雪をぎゅっとしたら、恐竜ができたよ」と雪を固めてできた形をもとにイメージを膨らませている。



## 遊びを通した学び

紙コップを積み上げて…

「もっともっと高しろう」と同じ形の紙コップをどんどん積んでいく楽しさを感じている。

## 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

紙コップのように、扱いやすく同じ形のを多数用意し、幼児がそのものとじっくりと関わっている様子を見守ります。ものの特性を捉え、どんどん並べたり、重ねたりする遊びを思い付き、楽しんでいることに、共感します。



## 遊びを通した学び

油粘土で…

「細長くしたら、ヘビができた」と偶然できた細長い粘土を見て、想像している。



## 遊びを通した学び

泥団子づくり…

「こっこの砂の方がつるつるになるよ」と固まりやすい砂や土の種類や触った感じの違いに気付いている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 豊かな感性と表現
- 思考力の芽生え

※これらの活動では他にも「自立心」「協同性」「言葉による伝え合い」などの姿も見とれますが、ここではあえて「造形遊びをする活動」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分の感覚や行為を通して形や色などに気付き、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、活動を工夫してつくる力
- 造形的な面白さや楽しさなどについて考え、楽しく発想や構想をしたり、造形的な活動から自分の見方や感じ方を広げたりする力
- 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする力

## 幼児期の遊びを通した学び

粘土に積極的に関わる中で、粘土の性質を感じ取り、気付いたことをもとに、できることを考えたり、工夫して表したりするなど、多様な関わりを楽しむ。

### 目標

- (知識及び技能) 土粘土に体全体で関わり、いろいろな形や色、触った感じなどに気付き、活動を工夫してつくる。  
 (思考力、判断力、表現力等) 土粘土の形や触った感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、造形的な活動を思い付き、どのように活動するか考える。  
 (学びに向かう力、人間性等) 楽しく粘土を使って造形遊びをする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しい生活を創造しようとする。

### 学習計画

- ①②(本時)  
 土粘土に十分に慣れ、手や体全体の感覚を働かせて活動を工夫してつくる。  
 土粘土で試してできたことを学級全体で共有し、活動を振り返る。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### つかむ

幼児期の学びを振り返りながら、土粘土を使った経験について話し合う。



- ★今までに、園では、粘土を使ってどんなことをして遊びましたか？  
 ●油粘土でごちそうをつくったよ。  
 ●へびをつくったよ。  
 ★今日は、土粘土にいっぱい触れて、土粘土と仲よくなりましょう。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の様々な経験を引き出し、活動に自分なりに見通しをもてるようにするとともに、土粘土の感触や手応えを味わいながら自分で試せるよう、十分に活動の時間を保障する。

### 表現する

土粘土を使って、やってみたいことを試しながら活動をつくる。

### つちねんどで できるかな。

★いろいろなことを試して、どんなことができたか教えてくださいね。

- 土粘土のかたまり、ひんやりしてるし、重たいよ。力持ちになるね。  
 ★本当ですね。両手に載せると、ずっしりして、手のひらに冷たさが伝わります。  
 ●先生、見て！つかんだら、グニャッとなったよ。  
 ★土粘土のかたまりが、一気に変身しましたね。  
 ●ぼくが体重全部で押しても、ペチャンコにはならないな。  
 ●指でグッとすると、ほら、穴がいっぱいできるよ！  
 ●雑巾みたいにねじったら、簡単にちぎれたよ。  
 ★押したり、ちぎったり、土粘土でいろいろなことができますね。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の学びを生かして一人一人が試していることを、擬態語や擬音語なども含めたその子なりの言葉で引き出すとともに、共感したり周りの子供へ伝えたりして、さらに試みることができるような働きかけをする。

- お団子をつくっているの。先生と友達の分、つくるよ。  
 ★たくさんできましたね。どうやったのかな？  
 ●両手でコロコロしたら、できるのよ。  
 ●私は、パスタをつくっているの。  
 ★とても細長いですね。  
 ●あのね、粘土板の上で、手のひらで転がしたらできるよ。



／ どんどん細く  
／ 長くなるよ！



- 積んだら、高くなったよ！もっと高くしよう！  
 ★粘土は重たいって友達が発見していました。安全第一でお願いします。  
 ●じゃあ、ぼくが押さえておくれ。  
 ★力を合わせたら、もっと高くできそうですね。  
 ●細くしたら、折れそうだね。太いまま、積んでいこう。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

子供の思いや活動の状況に応じて友達と共同して取り組めるように場を設定するとともに、友達の表現や考えなどに触れ、そのよさを感じられるようにする。

### 振り返る

土粘土で試してできたことを学級全体で話し合い、活動を振り返る。

- ★今日は、土粘土でどんなことができましたか？  
 ●最初は重くて硬いけれど、ねじったり伸ばしたりできたよ。  
 ●水を塗ると、溶けてくるよ。  
 ●途中で、乾いて色が変わったところがあったよ。  
 ●粘土板からはみ出るくらい、すごく細長い形ができたよ。  
 ●友達と高く積んで、楽しかったよ。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人がこだわっている形を捉え、造形的な視点と結び付けて学級全体で共有していくことで、自分の見方や感じ方を広げられるようにする。

★丸めたり、積んだりしていろいろな形にするなど、土粘土で、面白いことが出来ましたね。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 図画工作科 絵に表す活動

とのつながり



## 遊びを通した学び

電車づくり…  
「ハートを赤色でかこう！」と  
段ボールでつくった電車に、  
自分の好きな絵を好きな色  
でかいている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児が自分の好きなものを自由にかくことができる段ボールを  
準備し、一人一人が様々に表現する姿を見守ります。個々の表  
現に、共感する声掛けをすることで、表現する楽しさを味わう  
ことにつながります。



## 遊びを通した学び

お絵かき…  
「私は、ねごをかいたよ」と友  
達に絵を見せながら好きな  
ものをどんどんかいている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

友達の表現に触れるきっかけが生まれそうな場面を捉えて、つ  
なげることで、自他の表現のよさや面白さに気付くことが期待  
できます。



## 遊びを通した学び

破れた白い紙を見て「おぼけになっ  
た！」と形や色から想像し、目や口  
をかいたり貼ったりしている。



## 遊びを通した学び

恐竜博物館づくり…  
「どんどん恐竜を増やそ  
う！」と好きな恐竜の絵  
をかいたり、色を塗っ  
たりして、たくさんの  
恐竜をつくって準備を  
している。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

恐竜が好きな幼児のアイデアを生かして、表現したいことが  
表せるように材料や用具を準備し、様々な表し方の工夫を試  
せるようにします。共通の目的をもってつくる幼児同士をつ  
ないだり、見守ったりします。



## 遊びを通した学び

ホテルごっこ…  
「ここは、ねずみの部屋ね」と動物  
の名前と絵をかいて部屋に表示し、  
お客さんに分かるように工夫している。



## 遊びを通した学び

赤い絵の具で手形のスタンプをし  
て、「カニみたいだから、目をかこ  
う」とスタンプ遊びの形や色から  
身近な生き物を想像している。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 豊かな感性と表現
- 協同性

※これらの活動では他にも「自立心」「言葉による伝え合い」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「絵に表す活動」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分の感覚や行為を通して形や色などに気付き、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して表す力
- 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、作品などから自分の見方や感じ方を広げたりする力
- 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする力

## 幼児期の遊びを通した学び

感じたり、考えたりしたことを、形や色などを仲立ちにするなどして、自分なりの方法で表現する。線をかきながら、その内容に関連したイメージを言葉や動作で表現する。

### 目標

(知識及び技能) 感じたり、考えたりしたことをもとに、絵にかくときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付き、クレヨンやパスを使って、表したいことをもとに工夫して表す。  
 (思考力、判断力、表現力等) 感じたり、考えたりしたことなどをもとに自分のイメージをもち、表したいことを見付け、どのように表すかを考える。  
 (学びに向かう力、人間性等) 楽しく好きなことを絵に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しい生活を創造しようとする。

### 学習計画

#### ①②(本時)

感じたり、考えたりしたことなどをもとに、クレヨンやパスで自分が好きなことを絵に表す。  
 絵に表したものを、友達と紹介し合ったり、友達の絵のよいところを話したりして、作品を鑑賞することを楽しむ。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### つかむ

クレヨンやパスに触れながら、表したいことを見付ける。



- ★クレヨンやパスを使ったことがありますか。
  - 幼稚園のとき、使ったよ。
  - 保育園で、家の人の似顔絵をかいたよ。
- ★いろいろな色がありますね。今日は好きなものをクレヨンでかいていきましょう。かきたいものが見付かるかな。
  - 赤で丸をかいて、リンゴができたよ。
  - 長く伸ばしていったら、ジグザグの線がかけたよ。
  - ロケットをかきたいな。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の経験や、かいてみたい思いを受け止め、クレヨンやパスに触れながら、表したいものが見付かるように、活動に誘う。

### 表現する

感じたり、考えたりしたことなどをもとに、クレヨンやパスを使って絵に表す。

### すきなものやかきたいものをたのしくかこう。



- ★好きなものを、絵にかいて教えてくださいね。
  - 虫の絵が得意だよ。カブトムシをかくよ。
  - 休み時間に友達とブランコをしたことをかこうかな。
- ★材料コーナーに、大きさや形が違う紙をたくさん用意しています。今日は、どんだんかいて、教えてくださいね。
  - 長い四角の紙があるよ。電車みたいだな。
  - 一番大きい紙にしよう。でっかいゾウをかくよ。
  - 長細い紙があるな。ヘビがかけそうだな。
- さんのお花、かわいいね。私もかきたいな。
- かいてみて！できたら、一緒に並べよう！
- ★いいですね。○○さんの赤い花と△△さんのピンクの花が並んで、すてきです。
  - ねえ、○○さん、もっと増やして、お花屋さんになさない？
  - △△さん、それいいね、いっぱいかこう！



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

紙の形からイメージをもち、絵に表したり、かきたい気持ちに合わせ、個に応じて活動を進めたりできるように、大きさや形が異なる紙をたくさん用意し、楽しく取り組めるような環境を整える。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一緒に活動する姿を捉えたときには、それぞれの表現のよさを認めるとともに、互いによさを取り入れ、一緒に新たな表現を考えたりする姿に共感し、一人一人が活動をつくりだしている実感もてるようにする。

### 鑑賞する

絵を友達と紹介し合ったり、友達の絵のよいところを話したりする。



- ★絵を友達と紹介し合ってみましょう。いいなと思ったところも、伝えてくださいね。
  - さんの絵、いろんな色の線があって、電車の地図みたいだね。
  - 迷路をかいたんだけど、確かに地図にも見えるね！
- ★迷路なんです。どこがスタートなのかな。
  - ここからスタートして、こっちへ進んで、ここは行き止まりだよ。
  - カラフルな迷路で、楽しいね。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

かきたい思いが高まっているのに、一律に鑑賞を行い、活動を中断することがないように、状況に応じて、小グループや全体など、伝え合いのきっかけをつくる。言葉を付け加えたり、新たな言葉を引き出したりして、思いを伝え合えるようにする。

### 表現する

感じたり、考えたりしたことなどをもとに、クレヨンやパスを使って絵に表す。

- もっとかきたいな。
- ★友達と絵を紹介し合ったら、新しいアイデアが浮かんできた人もいますね。かいたら、先生にも教えてくださいね。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 図画工作科 立体に表す活動

とのつながり



## 遊びを通した学び

大型積み木で…

「**いろんな形の積み木を使った  
ら王様の椅子ができた**」と友達  
と試しながら積み木を組み合  
わせ、イメージしたものを形に  
している。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

様々な形や適切な数の積み木を用意し、並べたり積んだりすることを試すことができる時間と広い場を保障します。保育者が対話しながらイメージを引き出すことで、つくりたい意欲を更にもったり、友達と協力してついたりすることにつながっていきます。



## 遊びを通した学び

砂・水・木の実を使って…

「**いちごジュースとケーキの  
セットをつくるね**」と身の回  
りにあるものの形や性質  
などを生かして本物らし  
い料理をつくっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

砂や水、季節の木の実などの自然物に触れ、その形や手触りなどから得た感覚を生かして活動できるようにし、身の周りの様々な素材や材料、用具等を扱う楽しさや面白さを味わえるようにします。



## 遊びを通した学び

秋の木の実を使って…

「**かわいいどんぐりケーキができた!**」  
といろいろな色や形、大きさの木の実の  
中から選んでつくっている。



## 遊びを通した学び

カメラで「はいポーズ」…

「**ペットボトルキャップがボ  
タンになったよ**」と、それ  
ぞれ身近な材料の形や  
色の特徴を捉え、組み  
合わせてつくっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児が自由に材料を選ぶことができる身近な材料のコーナーを常設し、材料からイメージしたり、つくりたいもののイメージを実現したりできるようにしています。必要に応じてアイデアを出したり手を添えたりして、一緒に製作します。



## 遊びを通した学び

段ボールで車づくり…

「**ハンドルは、この形。ナンバーは  
赤色がいいな!**」と形や色にこだ  
わってつくっている。



## 遊びを通した学び

大好きな電車づくり…

「**4両の電車ができた!**」と空き箱  
や空き容器を組み合わせながら、  
車両をつないでつくっている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 豊かな感性と表現
- 思考力の芽生え
- 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚

※これらの活動では他にも「自立心」「協同性」「言葉による伝え合い」などの姿も見えて来ますが、ここではあえて「立体に表す活動」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分の感覚や行為を通して形や色などに気付き、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して表す力
- 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、作品などから自分の見方や感じ方を広げたりする力
- 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする力



## 幼児期の遊びを通した学び

空き箱の形や大きさ、長さなどを大まかに捉え、自分のイメージに合わせて選び、形の特徴を生かして様々に組み合わせながら、考えたものをつくり上げていく。

### 目標

- (知識及び技能) 箱の形や色を生かしたり、積んだり並べたりして思い付いたものを表すときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付き、表したいことをもとに工夫して表す。  
 (思考力、判断力、表現力等) 箱の形や色などをもとに自分のイメージをもち、積んだり並べたりして感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、どのように表すかを考える。  
 (学びに向かう力、人間性等) 楽しく箱を使って立体に表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しい生活を創造しようとする。

### 学習計画

#### ①(本時)

様々な箱を積んだり、並べたり、つなげたりする活動を楽しみながら、表したいことを見付ける。

#### ②③④

自分の表したいことに合わせて、はさみ、テープ、接着剤などを用いて、箱の積み方やつなぎ方、立たせ方を試しながら、表し方を工夫して表す。友達と作品の形や色の楽しさや面白さを伝え合う。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### つかむ

幼児期の学びを振り返りながら、箱を積んだり並べたりする活動に見通しをもつ。



- ★箱を積んだり、並べたりしたことはありますか。
  - つなげて電車に変身させて、遊んだことがあるよ。
- ★こんな風に積んだり、並べたりすることもできそうですね。
  - 縦に積むと、背が高くなって、キリンみたい。
  - もっとたくさんの箱を使ってみたいな。



- ★今日は、自分が持ってきたものや、材料コーナーの箱を使ってみましょう。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に積み木やブロックなどで遊んだ経験を踏まえ、活動に見通しをもてるようにするとともに、試したいことを自分で選択できるように、事前に様々な箱を集めておいて、自由に使える材料コーナーを設置するなど環境を整える。

### 表現する

様々な箱を積んだり、並べたりしながら、表したいことを考える。

### はこがなににへんしんするのかな?



- ★箱を積んだり、並べたりして、いろいろなものに変身させてくださいね。
  - ふたが開くと、口みたい。
  - 薄い箱は、飛行機の羽になりそう。
  - 筒を使うと、タイヤができそうだね。

- ★うまく立たなくて困っているようですね。どうしたらしっかり立つのでしょうか?
  - 足に、同じ箱を使ったらどうかな。
  - そうか! 材料コーナーに同じものがあるかな?

友達と話して  
ひらめいた!

- ★ぜひ試してみるといいですね。



- ★たくさん並べましたね。何ができていますか?
  - 線路が続いて、向こうに町があります。
  - 私有家をつくっています。

- ★線路の上に箱を載せたんですね。
  - 新幹線です。すごいスピードで町まで行くよ。
  - 町には恐竜もいるよ!



- ★楽しい町が広がってきましたね。

何に変身するのか  
思い付いたよ!



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

並べたり重ねたりして見立てている様子や対話から、子供の表したいことを捉え、子供が試していることに共感したり、周りの子供へ伝えたりすることで、さらにイメージを具体的にしたり、そのイメージを実現できたりするように働きかける。

### 振り返る

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

- ★箱がどんなものに変身しましたか。
  - 動物ができました。
  - 友達と町をつくりました。
- ★箱を組み合わせるときに、どんなことに気がきましたか。
  - 細長い箱や平べったい箱にしたら、ぴったりだったよ。
  - 同じ大きさの箱を足にすると、うまく立ちました。



- ★箱の形や色から表したいことを見付けることができましたね。
  - SLは、黒い箱があったので、本物みたいになりました。

- ★箱の色も、大切なんですね。

- 箱と箱をテープで貼ったら、崩れなくなるよ。



- ★次の時間は、つなぎ方も工夫して、さらに自分の表したいものをつくっていきましょう。先生も、もっと箱を探してみます。皆さんも、家で、集めておいてくださいね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の気付きを捉えながら、造形的な視点と結び付けて学級全体で共有していくことで、次時への見通しと期待感をもてるようにする。

# 幼児期の 遊びを通した学び

# と 図画工作科 工作に表す活動

# とのつながり



## 遊びを通した学び

ハンバーガー屋さんを開くために…

「パンは丸く、ポテトは細長く」と表したいことをもとに紙を選び、切ったり丸めたり重ねたりしながらつくっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児との日頃の対話を大切に、生活体験を把握することで、どのようなことに興味をもっているのかを探ります。幼児一人一人がイメージしたことを実現できるように、話をよく聞き、材料と一緒に探したり、新たな材料を提示したりします。



## 遊びを通した学び

どんぐり転がしゲーム…  
「ここに空き箱を貼ったら、よく転がるようになったね」と、どんぐりがよく転がるように仕組みを考えながらコースをつくっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼児がいろいろな材料を組み合わせ、どんぐりの転がり方を試しながらつくりかえていくことができるように、ゆったりとした場所と十分な時間を確保するとともに、幼児と一緒に適した接着材や接着方法を考えます。



## 遊びを通した学び

学校ごっこ…

「小学校へ行ってきます！」と好きな箱を選んで、紐をつけてつくったお気に入りのかばんを持って遊んでいる。



## 遊びを通した学び

折り紙を小さく折ってはさみで切って広げると…

「きれいな飾りができた！」とつくった飾りを窓や壁に貼ったり、友達と見せ合ったりして楽しんでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

発達に応じて、安全なはさみの使い方を教えます。刃先や刃元を使い分けて切り込みを入れる様子を見守ったり、できた形の面白さを言葉にして伝えたりして、次はこんな形に切ってみたいという考えを引き出していきます。



## 遊びを通した学び

衣装づくり…

「お姫様に変身したい！」と好きなキャラクターをイメージしながら、服や靴、傘などをつくって身に付けて、なりきって楽しんでいる。



## 遊びを通した学び

紐で三つ編みをして…

「かわいい髪飾りをつくりたい！」と好きな色の紐を3色選び、編み方を工夫して飾りをつくっている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

●豊かな感性と表現

●思考力の芽生え

●健康な心と体

※これらの活動では他にも「自立心」「協同性」「言葉による伝え合い」などの姿も見られますが、ここではあえて「工作に表す活動」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 自分の感覚や行為を通して形や色などに気付き、手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具を使い、表し方を工夫して表す力
- 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、作品などから自分の見方や感じ方を広げたりする力
- 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする力

**幼児期の遊びを通した学び**

身近な材料に触れて、様々なものをつくることを楽しみながら、次第にイメージを広げたり、つくったものを飾って楽しんだりする。

<b>目標</b>	<p>(知識及び技能) 折り紙を折って切ったり、つなげたり、身近な場所を飾ったりするときの感覚や行為を通して、いろいろな形や色などに気付き、紙やはさみ、のりなどを使って表したいことをもとに工夫して表す。</p> <p>(思考力、判断力、表現力等) 切った紙の形や色などの感じをもとに自分のイメージをもち、表したいことや用途などを考え、形や色を生かしながらどのように表すかを考える。</p> <p>(学びに向かう力、人間性等) 楽しく紙を切って飾る活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、楽しい生活を創造しようとする。</p>
<b>学習計画</b>	<p>①②(本時) はさみの安全な使い方を確認する。紙を折って切り、いろいろな形をつくる。</p> <p>③④⑤ 紙の折り方や切り方を考えて、いろいろな形の飾りをつくり、つなぎ方を考える。教室の窓や出入口などを工夫して飾る。飾りや飾った教室を見て、友達と面白さや楽しさを伝え合う。</p> <p style="text-align: right;">※丸囲み数字は授業時数</p>

**【授業展開例】**

**つかむ**

幼児期の学びを振り返りながら、折り紙を折って切る形の表し方をつかむ。

**POINT**

**幼児期の学びを踏まえた指導の工夫**

児童の好奇心や探究心を引き出すことができるように、教師が例示し、折り紙を折って切り形をつくる活動について見通しをもつとともに、教室を飾ることへの期待感を高める。



- ★折り紙を三角に3回折って、切ってみます。見ていてくださいね。
- 折ったところを切ったら、穴が開いたみたいだね。
- 折って切って、開いたらきれいな模様の形ができるね。
- 雪の結晶みたいな形になったね。
- 幼稚園で、やったことがあるよ。
- ★すてきな飾りをつくって、教室に飾ると楽しそうですね。



紙を折って切り、いろいろな形をつくりましょう。まずは、はさみの使い方を確認します。

**表現する**

いろいろな折り方や切り方を試しながら、飾りに表す。

**いろいろなおりかたやきりかたをくふうしてつくり、きょうしつをかざろう。**

**POINT**

**幼児期の学びを踏まえた指導の工夫**

一人一人の様子を捉えながら、安全にはさみを使うことができるように指導するとともに、はさみを使って切る心地よさや、はさみを使ってつくる楽しさを味わえるように、十分な材料や時間を確保する。



- ★いろいろな折り方や切り方を試してみましょう。どんな形ができるかな。
- 半分に折って切ったら、ハートができたよ。
- 三角に2回折って、角を切って開いたら、大きな穴ができていたよ。
- 四角に3回折って切ったら、お花みたいになったよ。
- 折り紙を開いたら、バラバラになっちゃった。
- ★どうしてバラバラになったのでしょうか？
- 何でかなあ…たくさん切りすぎたのかなあ。
- 私もいっぱい切ったけれど、つながっているよ。
- 端っこを全部切っちゃったんじゃない？
- バラバラになった形も、並べてつないだら面白そう。
- ★友達の話から気付いたことはありましたか。さらに試してみてください。

友達のつくり方を見ていたら、試したいことを思いついたよ!



こんな形ができたよ!



**POINT**

**幼児期の学びを踏まえた指導の工夫**

仕組みを生かして、考えたり、予想したり、工夫したりできるように、一人一人の考えを受け止め、そのことを言葉にして伝えながら、さらに考えを引き出す。

**振り返る**

本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

**POINT**

**幼児期の学びを踏まえた指導の工夫**

一人一人が不思議さや面白さを感じ、こうしてみたいという願いをもっていることを言葉で引き出し、学級全体で共有することで、新しい考えが生まれ出され、友達の考えのよさを感じるができるようにするとともに、次時への見通しと期待感をもてるようにする。



- ★いろいろな折り方や切り方を試して、どんな形ができましたか。
- 何回も折った方が、きれいな模様になりました。
- でも、たくさん折りすぎると、固くて、はさみで切れなくなったよ。
- 三角に折ったときと、四角に折ったときでは、開いたら形が違っていたよ。
- 切りすぎて、バラバラになったけれど、つないだら模様になりました。
- 形をたくさんつないだら、楽しいね。
- ★たくさんつないだら、楽しくなりそうですね。
- 吊るして飾ると、教室が楽しくなります。
- 色もカラフルにしてみたいな。
- ★とてもいいアイデアですね。次の時間は、いろいろな折り方や切り方を工夫するだけでなく、つなぎ方も工夫して、教室を楽しく飾りましょう。





お話

千葉大学教育学部附属幼稚園

田中 幸先生

千葉県千葉市立本町小学校

奥田 正幸先生

## 体育科の特徴

体育科は、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育む教科です。

幼児期に遊びを中心とする身体活動を十分に行うことは、生涯にわたって必要な多くの運動の基となる多様な動きを幅広く獲得することにつながるだけでなく、体を動かす楽しさや心地よさを実感することにつながります。

遊びの中で行う、転がったり、よじ登ったり、友達を追いかけて走ったり、物を投げたり、踊ったりするといった様々な経験は、運動種目として成立する以前の基本的な動きであり、小学校以降の体育科の学習を楽しく安全に行うための大変貴重な経験になります。

幼児期において、子供たちの自発的な活動を尊重し、子供自身が遊び方を考えたり、友達や大人と関わったりしながら、これらの基本的な動きを豊富に経験していくことが、小学校以降の主体的・対話的で深い学びにつながっていきます。

## 幼児期の遊びを通した学び

安定した情緒の下、伸び伸びと自分のやりたいことに向かう中で自己を充実させ、ますます意欲的に遊びや活動に取り組むようになります。自分たちで選択して取り組む遊びの中で、幼児は体を動かす心地よさ、友達と協力したり競い合ったりする楽しさ、決められたルールを守ったり新しくルールをつくったりしながら遊ぶ面白さなどを実感を伴って学びます。

具体的には…

- 風に舞う花びらや落ち葉、チョウやバッタなどの虫を夢中になって追いかけている。
- ごっこ遊びの中で忍者やヒーローなどの役になりきり、友達と一緒に走り回ったり、高い場所から跳び降りたり、不安定な足場を渡ったりしている
- 高い場所によじ登ったり跳び降りたりする友達の様子を見て、自分もやってみたいと繰り返し挑戦する

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 体育科 体づくりの運動遊び

とのつながり



## 遊びを通した学び

ロープのぼり…  
「今日こそ上まで登れるかも！」とゴール地点を見つめながら、しっかりロープを握り、足を突っ張らせ、全身を使いながら、少しずつよじ登っている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

最初はうまく登れなくても、友達にコツを教えてもらいながら、少しずつ登れるようになっていきます。先生が「諦めないで挑戦しているね」「ロープをぎゅっと握って力が入っているね」などと幼児が気付いていないよさや成長を言葉にして伝えることで、挑戦する意欲が高まります。



## 遊びを通した学び

ビニール紐を使ったクモの巣づくり…  
「引っかけたら、ダメってことね！」張り巡らせた紐に触れないように、体の動きを意識して通り抜ける。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

遊びのイメージに合わせ「大きなクモがすんでいそう」などと声を掛けることにより、幼児はさらにイメージを膨らませます。幼児が「クモに食べられちゃうから引っかけたらダメってことね！」と遊びを決め、紐をくぐる、よける、跳び越えるなどの動きを繰り返し楽しむ姿を見守ります。



## 遊びを通した学び

泡遊び…  
「きれいにしよう！」と雑巾がけのように手や足で体を支え、泡をたっぷり含ませたネットを道の上に滑らせている。



## 遊びを通した学び

基地づくり…  
「落とさないように気を付けてね」リヤカーを引く役、後ろから支える役に分かれて協力して運んでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

保育者は、幼児が一人一つずつケースを運ぶのを見て、協力すれば一度に多くのものが運べるリヤカーの使用を提案してみます。幼児はリヤカーを引く役とケースを支える役に分かれ、スピードを調整しバランスを取りながら一度に多くのケースを運びます。



## 遊びを通した学び

竹馬乗り…  
「あそこまで競争ね！」と竹馬から落ちないように、転ばないように、慎重に進んでいる。



## 遊びを通した学び

大型積み木でコースづくり…  
「落ちないように、そおとね」と、細い板の上をバランスを取りながら渡っている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 協同性

※これらの活動では他にも「自立心」「道徳性・規範意識の芽生え」「思考力の芽生え」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「体づくりの運動遊び」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 体づくりの運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること
- 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること
- 体づくりの運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすること

## 幼児期の遊びを通した学び

よじ登ったり、紐をくぐったり、バランスを取りながら平均台を渡ったりして、自分で体の動きを意識しながら、全身を使って体を動かすことを楽しんでいる。

### 目標

- (知識及び運動) 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、体の基本的な動き（バランス、移動）をして遊ぶことができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

### 学習計画

- ①(オリエンテーション) 学習のねらいを知り、単元の学習の見通しをもつ。
- ②③④「進め！忍者修行」 様々な運動遊び（忍者修行）を楽しむ。
- ⑤⑥⑦「進め！忍者修行 忍術にチャレンジ」（本時） 運動遊び（忍者修行）の行い方や動き方を工夫して楽しむ。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 準備運動

準備運動と簡単な鬼遊びで心と体をほぐす。



- ★忍者修行を始める前に、修行で使う部分をゆっくり伸ばしましょう。
  - 体をいっぱい伸ばすと気持ちがいいな。
- ★鬼遊びで体をあたためましょう。今日の鬼は氷の術を使うよ。→氷鬼を実施
  - 忍者は、周りをよく見て友達とぶつからないように走ることができるんだよね。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

忍者修行というテーマを設定することで、子供たちの意欲を高めるとともに、本単元で身に付けさせたい動きを引き出す。

### 活動①

学習の進め方やきまりを確認し、運動遊びを行う。

- ★ペアの友達と、いろいろな修行をしてみましょう。
- ★友達とぶつからないように気を付けながら、順番を守って仲よく活動しましょう。

【場と運動遊び(修行)の設定例】…様々な動きを引き出す場

※修行の場の名前は、子供たちと相談して決める

- マット…転がる、跳び越す、押す(雑巾がけ)、引っ張る
- 跳び箱…よじ登る、跳び乗る、跳び下りる、
- 平均台…渡る、横向きに渡る、くぐる、すれ違う
- 輪…片足連続跳び、両足連続跳び、一回転ジャンプ
- ゴム紐…跳び越える、くぐる、這う
- ロープ…たどって走る、跳び越える
- コーン…跳び越える、避けて移動する

- マットがずれているから危ないね。直してからやろう。
- 赤い輪は片足で跳んで、青い輪では一回転してみようかな。
- 一本橋(平均台)ですれ違うのって難しいから、一緒にやってみようよ。



這ったり跳び越えたりしながら移動する



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に経験した多様な動きを生かして、思うがままに様々な動きに挑戦したり、動きを高めたりすることができるような学習の場を設定する。



## 進め！忍者修行 忍術にチャレンジ。

- ★様々な場で忍者修行を行ってきましたが、その修行に忍術を加えてみましょう。
  - ※忍術…動きに形容詞を付けて変化を加えることで、今まで体験した動きを高める。
    - 「大きくの術」を使って、大きくジャンプするんだ。
    - 「素早くの術」を使うと、ゴム紐修行の場が難しくなったよ。
    - 前回、一本橋(平均台の場)で「巻き戻しの術」ができたときは、嬉しかったな。



### 活動②

行い方や動き方の工夫について、よい例を全体で紹介し、もう一度運動遊びを行う。

- ★面白い修行をしている友達がいたので紹介しますね。みんなで見てみましょう。
  - 「忍び足の術」を使って、静かに音を立てないようにやってみました。
  - 「分身の術」を使って、友達と一緒に同じ動きをしてみました。
  - 「ねこの術」はねこになりきって修行をします。

その他に「カエルの術」もやってみました。

- ★楽しそうだな、すてきだなと思う友達の修行や忍術は、どんどん真似してよいですよ。
- ★それではもう一度、修行を始めましょう。



「分身の術！」同時に着地しよう



二人で体のバランスを取りながら跳ぶ

### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- ★次の時間にやってみたい修行や、真似したい友達の動きを学習カードに書きましょう。
  - 友達と「スローモーションの術」をかけあうのが楽しかったから次もやりたいな。
  - 〇〇さんがコーンの場で素早く移動していて、真似したいと思いました。
- ★新しい忍術を身に付けた人がいっぱいいますね。立派な忍者にまた一歩近づけましたね。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

一人一人の考えを受け止め、クラス全体に広げることで、教師に見守られているという安心感を満たし、次時への意欲を高める。

# 幼児期の遊びを通した学び

と

# 体育科 器械・器具を使つての運動遊び

とのつながり



## 遊びを通した学び

滑り台で…  
「手につかまって!」と、友達に手を伸ばす中で、頭が下になる逆さまの感覚を楽しんでいる。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

広幅の滑り台で友達と並んで滑り降りることを楽しみながら遊ぶ子供たち。ある日、下から上に駆け上がる遊びに挑戦し、急こう配に苦戦する中、逆さまになりながら手を差し伸べて手助けしようとしています。



## 遊びを通した学び

のぼり棒にて…  
「見て! フクロテナガザルみたいでしょ?」と、遠足に行った動物公園で見たフクロテナガザルの真似をして、楽しそうに友達と笑い合つてぶら下がっている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

遠足で「腕が長いね」「腕の力が強いね」「雲梯をしているみたいだね」など会話が弾んだフクロテナガザル。フクロテナガザルの動きを思い出しながら、真似て楽しむ幼児に共感の言葉を掛けながら、いろいろな動きを引き出します。



## 遊びを通した学び

斜面の一本橋渡り…  
「落ちたらワニに食べられちゃう。落ちないように進もう!」バランスを取り、イメージを共有しながら遊んでいる。



## 遊びを通した学び

基地遊び…  
「やっほ~! よく見えるよ!!!」と、鉄棒に掛けたすのこに上り、高さを感じながら、遠くの友達に呼び掛けている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

瓶ケースが不足して基地がつかれないと困る子供たちに、保育者は安全を確認して、すのこを鉄棒に掛けることを提案します。基地ができると、鉄棒って意外と高いなあ…とドキドキしながら、いつもと違う感覚を楽しみます。



## 遊びを通した学び

ブランコで…  
「見て! サークスみたいでしょ!」  
「もしかしたら3人でも乗れるかも?」と器用にロープにつかまりながら、挑戦している。



## 遊びを通した学び

胸くらいの高さのある段差に挑戦…  
「もう少し! がんばって!」自分の体の重さをどう支えるのか、試行錯誤しながら取り組んでいる。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 自立心

※これらの活動では他にも「協同性」「思考力の芽生え」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「器械・器具を使つての運動遊び」に深くつながるものを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 器械・器具を使つての運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること
- 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること
- 器械・器具を使つての運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること



## 幼児期の遊びを通した学び

鉄棒を使って、支持する、ぶら下がる、跳び下りる等、体を支える動きや逆さまになる感覚などを味わっている。

### 目標

- (知識及び技能) 鉄棒を使った運動遊びの行い方を知るとともに、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をして遊ぶことができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 鉄棒を使った簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 鉄棒を使った運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

### 学習計画

- ①(オリエンテーション) 学習のねらいを知り、単元の学習の見通しをもつ。
- ②③④「いろいろな動物になって遊ぼう」 鉄棒を使った運動遊び(○組動物園)を楽しむ。
- ⑤⑥⑦「動物の遊び方を工夫しよう」(本時) 鉄棒を使った運動遊び(○組動物園)の遊び方を工夫して楽しむ。

※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 準備運動

準備運動と固定施設を使った運動遊びで体をほぐす。



- ★動物に変身する前に、いろいろな部位をゆっくり伸ばしましょう。
  - 鉄棒で遊ぶから、腕や肩をしっかり伸ばすんだよね。
- ★まずはグループごとに固定施設を使って遊びましょう。今日は1班がジャングルジム、2班が雲梯、3班は…。
  - 雲梯でさるみたいに渡ってみようかな。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

動物園というテーマを設定することで、子供たちの意欲を高めるとともに、動物の模倣を通して本単元で身に付けさせたい動きを引き出す。

### 活動①

学習の進め方やきまりを確認し、運動遊びを行う。

- ★ペアの友達と、いろいろな動物に変身をしてみましょう。
- ★友達とぶつからないように気を付けながら、順番を守って仲よく活動しましょう。

#### 【場と運動遊びの設定例】

- <低い鉄棒(児童の腰からお腹くらいの高さ)>
  - ツバメ…手で支持して止まる(跳び上がり、支持、跳び下り)
  - シマウマ…体を伸ばして手で支え、足は走るように動かす(支持)
  - ぶたの丸焼き…手と足で鉄棒にぶら下がる(ぶら下がり、揺れ)
- <中くらいの鉄棒(児童の胸から肩くらいの高さ)>
  - こうもり…膝をかけて逆さまになる(支持、揺れ)
  - ねこ…支持の姿勢から体を丸めて前に回る(易しい回転)
- <高い鉄棒(児童の頭くらいの高さ)>
  - ナマケモノ…手や足を使ってぶら下がる(ぶら下がり、揺れ)
  - さる…手でぶら下がって移動(ぶら下がり、揺れ)

- 鉄棒を握るときは、親指をからめてしっかり握るんだよね。
- 「ツバメ」の姿勢から、大きく後ろへ跳んでみよう。
- 「ぶたの丸焼き」で片手と片足を離したら、「ナマケモノ」みたいになったよ。
- 先生に台を用意してもらったら、跳び上がりができたよ。



膝をかけて逆さまになり「こうもり」

揺れても怖くないよ!



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

繰り返し挑戦したり諸感覚を働かせ体を思い切り使って活動したりするなど、心と体を十分に働かせることができるような学習の場を設定する。

## 動物の遊び方を工夫しよう。



- ★様々な動物がいる動物園になりましたが、動物の動きを工夫してみたり、動物同士で遊んだりしてみましょう。
  - 友達と一緒に「こうもり」をやってみたいな。
  - 「ツバメ」で素早く横に移動したら、ペンギンみたいな動きになったよ。



### 活動②

遊び方の工夫について、よい例を全体に紹介し、もう一度運動遊びを行う。



- ★面白い遊び方をしている友達がいたので紹介しますね。みんなで見てみましょう。
  - 友達とタイミングをずらして前に回ったら、イルカのショーみたいになりました。
  - 三人で並んで「こうもり」をして、ゆらゆらしたら楽しかったです。
  - 体を丸めずに伸ばしたままゆっくり前に回ったら、ねこじゃなくてトラです。
- ★楽しそうだな、すてきだなと思う友達の遊び方は、どんどん真似してよいですよ。
- ★それではもう一度、「○組動物園へ、レッツゴー！」



タイミングを合わせて易しい回転をする

### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。



- ★次の時間にやってみようかな遊び方や、真似したい友達の遊び方を学習カードに書きましょう。
  - さんみたいに、「ツバメ」から後ろへ遠くに跳びたいな。
  - いろいろな動物の動きをつなげてみたいです。
- ★今日もいろいろな動物がいろいろな遊び方をされていてすばしかったです。次回も、動物の遊び方をたくさん見付けていきましょう。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

自分の思いや考えを言葉や動作などで表し、相手に伝えたり、互いの考えを出し合ったりしている児童を称賛し、次時への意欲を高める。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 体育科 走・跳の運動遊び

とのつながり



## 遊びを通した学び

風に舞う桜の花びら…  
「わあ、きれい！」と言いな  
がら、何とかして地面に  
落ちる前にキャッチしよ  
うと走り回る。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

地面に落ちている薄桃色の花びらを集めていた子供たち。そこに  
風が吹いてきて、花びらが空に舞いました。「わあ、きれい！」  
と眺めた後、誰からともなく花びらをキャッチして遊び始めます。  
保育者も参加すると、周りに遊びが広がっていきます。



## 遊びを通した学び

バトンを用いたリレー…  
「OOちゃん、パス！」  
自然と声を掛け合って、バ  
トンを渡したり、受け取っ  
たりすることを楽しんでい  
る。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

学年でリレーに取り組んだ後、白線やバトンを残しておく、  
数人の幼児が自分たちでリレーを始めます。いつでも誰でも自  
由に参加できる場があることで、走る楽しさから勝敗にこだわ  
る楽しさへ、経験を重ねながら楽しみ方が変わっていきます。



## 遊びを通した学び

いろはにこんぺいとう…  
「下、通れみよ〜！」短縄を2本  
使った遊びで、地面すれすれの縄  
の下をくぐり抜けようとする。



## 遊びを通した学び

戦いごっこ…  
「悪者にはつかまらない  
ぞ！」保育者を敵役に見  
立て、捕まらないように  
距離を取って逃げ回る。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

空き箱で武器をつくっていた幼児たちが、「ここから  
ビームが出るよ！」などとアピールしてきます。保育者  
が敵役になってそのイメージを受け止めると、幼児は  
ポーズをとるなどヒーローになりきり動きを楽しみます。



## 遊びを通した学び

高いところからジャンプ…  
「初めて跳べた！」何回も小屋の  
屋根に上がっては下を眺めていた  
幼児。ある日屋根から跳び降りて  
「初めて跳べた！」と大喜び。



## 遊びを通した学び

ダンプカーを走らせて…  
「工事に出発！」工事のイメージ  
で、ダンプカーを砂場に運び込も  
うとしている。砂場まで地面を走  
らせて、友達と速さを競い合う。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 自立心

※これらの活動では他にも「協同性」「自然との関わり・生命尊重」「豊かな感性と表現」などの姿も見てとれますが、ここではあえて「走・跳の運動遊び」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 走・跳の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること
- 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること
- 走・跳の運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること

## 幼児期の遊びを通した学び

ゴールに向かって力いっぱい走ったり、障害物を走り越えたりする等の遊びを楽しみながら、体の使い方を身に付けている。

### 目標

- (知識及び技能) 走の運動遊びの行い方を知るとともに、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりして遊ぶことができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 走の運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

### 学習計画

- ①(オリエンテーション) 学習のねらいを知り、単元の学習の見通しをもつ。
  - ②③④「折り返しリレー遊びを楽しもう」遊び方を工夫しながら折り返しリレー遊び(かけっこランド)を楽しむ。
  - ⑤⑥⑦「障害物リレー遊びを楽しもう」(本時) 遊び方を工夫しながら障害物リレー遊び(かけっこランド)を楽しむ。
- ※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 準備運動

準備運動とかけっこをする。

- ★かけっこをする前に、いろいろな部位をゆっくり伸ばしましょう。
  - かけっこだけど、足だけでなく全身を伸ばすんだよね。
- ★チーム対抗でかけっこをしましょう。今日のコースは「ジグザグコース」と「くるりんコース」です。最初にどちらを走るか対戦チームと決めてください。2回目はコースを交代しますよ。
  - くるりんコースは目が回りそうで楽しいね。



●児童

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

チームは、走力だけでなく、子供たちの様子をよく見ながら、時期に応じていろいろな友達と関わり合うきっかけとなるように編成する。

### コースづくり

学習の進め方やきまりを確認し、運動遊びを行う。

- ★グループの友達と協力して仲よくコースづくりをしましょう。
- ★折り返しリレー遊びのコース(往復40m程度)に障害物を置いて、リレー遊びをします。
- ★今日の障害物の数はどうしますか。→行きが3個、帰りも3個にしましょう。

### 障害物リレー遊びを楽しもう。

【使用する障害物の例】※矢印の先は、見立てるもの  
 短なわ(輪の状態)→水溜まり  
 輪 →落とし穴  
 低い段ボール →ワニ  
 2Lペットボトル(横に4つつなげる) →炎  
 ミニハードル →ヘビ  
 三角コーン(横に倒す) →犬

- 水溜まりや落とし穴は高くないけれど、幅が広いから、気を付けないといけないね。
- 前はワニ(段ボール)を使わなかったから、今日はワニを使ってみようよ。
- 犬(三角コーン)は、頭の向きをジグザグにしようよ。



●児童

あまり近くに置くと走りづらいよね



障害物をどこに置かか決める

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

集団でコースをつくったり、それぞれが役割を分担して一つのことを成し遂げたりすることで、仲間意識が深まるように支援する。



★教師

- ★コースができたら、自分たちで走ってみましょう。
  - 2つ目と3つ目の障害物が近すぎて走りにくいから、もう少し遠ざけたいな。
  - 水溜まりに入ってしまったよ。もう一回走ってみたいな。
- ★走ってみたら、グループで相談して、障害物の置き方を少し変えてもいいですよ。

### 競走

つくったコースを使い、チーム対抗で障害物リレー遊びを行う。

- ★チーム対抗でリレー遊びをしましょう。次の走者の手の平にタッチしたら交代です。
- ★まずは自分たちのつくったコースで競走しましょう。
- ★2回目はコースを交換して、相手チームのつくったコースで競走しましょう。
  - さんの走り越え方が、とっても上手だったよ。
  - 負けても怒らないことが大事だったよね。次にまたみんなでがんばろうよ。
  - 次は走る順番も変えてみようよ。
- ★5分の作戦タイムの後にもう一回競走をします。この間に、コースを変更してもいいですよ。
  - スピードを落とさずに走れるコースを考えてみようよ。



●児童



チーム対抗リレーで競走

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

勝敗やきまり等に関連していざこざが生じた場合は、子供に寄り添い励ますことで、子供が自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながら、勝敗を受け入れたり、きまりをつくったりすることができるようにする。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- ★次の時間につくってみたいコースのアイデアや、上手だった友達の動きを学習カードに書きましょう。
  - 障害物を置く間隔をそろえたら走りやすかったな。
  - さんは、足を合わせながらまっすぐ走っていました。
- ★どうやらリズムよく走り越えるコースをつくると、速く走れるようですね。



★教師



●児童

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 体育科 水遊び

とのつながり



## 遊びを通した学び

雨水が溜まって泥遊び…  
「**すごく深い!**」  
数日前から掘っていた穴に雨水が溜まっているのを見つけた幼児。長靴を履き一步一步慎重に入ったり、感触を楽しんだりしている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

幼虫探しをしていた穴に雨水が溜まり、大きな泥んこ池になりました。先生が「長靴なら入れるかもね」とつぶやくと、すぐに数名の子供たちが長靴で中に入ります。「なんだか歩みにくい」と、いつもの穴との違いに戸惑いつつも、いつの間にか泥んこ遊びに夢中になります。



## 遊びを通した学び

雨上がりに大きな水溜まり…  
「**海みたい!**」と、友達と一緒に中に入り、水をシャベルで掻きながら進む感覚を楽しんでいる。



## 遊びを通した学び

机でウォーターライダー…  
「**スピード速かったね!**」と、順番を待ちながら、滑っていった友達同士で声を掛け合っている。



## 遊びを通した学び

水遊び…  
「**気持ちいいね!**」小さなプールに入り、近くにいる友達と水をかけ合いながら、水の気持ちよさを感じている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

大きなプールではなく、友達との距離がとても近いのが小さいプールのいいところ。水をかけ合ったり、顔を見合わせて笑い合ったり…水遊びの楽しさ、水の気持ちよさ、心地よさを味わいます。



## 遊びを通した学び

段ボールとカラーポリ袋で盾づくり…  
「**水攻撃に負けないぞ!**」とホースの水を盾で防ぎながら、水の重さを感じている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

暑い日は水遊びが気持ちいいけれど、あまり濡れたくない、顔に水がかかるのは嫌という幼児。保育者が、濡れなくてすむ方法を考えることを提案すると、一人が「盾づくり」を思い付きました。保育者の水攻撃を盾でかわすと、水が当たる大きな音や水の重さを感じます。



## 遊びを通した学び

水のアーチくぐり…  
「**次はキャッチするよ!**」と、放物線を描いて落ちてくるホースの水の感覚を手の平で受け止めている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 健康な心と体
- 協同性

※これらの活動では他にも「自立心」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「豊かな感性と表現」などの姿も見られますが、ここではあえて「水遊び」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 水遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること
- 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること
- 水遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること

## 幼児期の遊びを通した学び

水を手ですくったり、足まで水につかった状態で歩いたり、水の中で体を浮かべせたりする等、全身で水に触れ、水の気持ちよさとともに、水の特徴を感じている。

<b>目標</b> (知識及び技能) 水遊びの行い方を知るとともに、水につかって歩いたり走ったりして遊ぶことや、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりして遊ぶことができるようにする。 (思考力、判断力、表現力等) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等) 水遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすることができるようにする。	①(オリエンテーション) 学習のねらいを知り、単元の学習の見通しをもつ。	②～⑩「じゃぶじゃぶお散歩を楽しもう」「スイスイお散歩を楽しもう」(本時) 水の中を移動する運動遊び(じゃぶじゃぶお散歩)を楽しむ。 もぐる・浮く運動遊び(スイスイお散歩)を楽しむ。
	※丸囲み数字は授業時数	

## 【授業展開例】

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期の「自分の行動の危険性を予測することができない」という特徴を意識し、安全のための心得については繰り返し指導するとともに、運動遊びの内容や動線、水位等に注意を払う。

### 準備する

心得を確認し、準備運動をしてシャワーを浴びる。



- ★毎回確認しますが、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの心得は必ず守りましょう。
- 命の安全にも関わることだから、心得は大事なんだよね。
- ★シャワーは体全部を濡らすように、丁寧に浴びましょうね。



### 水遊び①

水の中を移動する運動遊びを行う。



- ★水慣れをします。プールサイドに座り、足の裏でたくさん水を叩きましょう。
- ★次に、水を手ですくい、頭、顔、お腹、胸に水をかけていきましょう。
- だんだん体が水の冷たさに慣れてきたね。
- ★水に入ったら、反対のプールサイドまで歩いてみましょう。
- 水の中だと歩きにくいね。走るともっと動きにくさを感じるよ。



### じゃぶじゃぶお散歩を楽しもう。

★いろいろな歩き方で移動をしてみましょう。

#### 【歩き方の例】

- アヒル歩き…肩までつかって歩く
- 怪獣歩き…両手で水をたたきながら歩く
- カニ歩き…口まで水につけて、バブリングをしながら歩く
- カエル歩き…プールの底を触ってジャンプしながら歩く
- ワニ歩き…足を後方に伸ばして手だけで歩く(浅いプール)

- 怪獣歩きをしていたら、いつの間にか顔に水がかかっても大丈夫になっていました。
- 口まで水につけるのが怖かったけれど、手の平にすくった水を吹き飛ばす遊びをしたら、怖くなくなったよ。

- ★上手になったお友達がいたので紹介します。みんなで見てみましょう。
- ★水分補給をしましょう。のどが渴いていなくても、水分を補給しましょう。



ぼくは怪獣歩きが楽しい!

様々な歩き方で水の中を歩き回る

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

水の特徴(浮力、水圧、抗力・揚力など)を感じたり、その特性を生かしたりすることによって、一層運動遊びが面白くなるように学習の場を設定する。

### 水遊び②

もぐる・浮く運動遊びを行う。

- ★いろいろな浮き方をしてみましょう。
- くらげ浮き、伏し浮き、大の字浮き
- 力を抜くのが大事だったよ。

### スイスイお散歩を楽しもう。



- ★二人組になりヒーローとマントになって飛び回りましょう。
- ・ヒーロー役…肩まで水につかって、歩いたり走ったりする。
- ・マント役…ヒーロー役の肩に手を置き、伏し浮きをする。
- マント役は顔を水につけられるといいんだよ。
- ヒーロー役が走ったり曲がったりすると楽しいね。
- ★マント役の方は、水に顔を付けている間はバブリングができるといいですね。
- ★手をつないで引いてもらった方が安心な人は、それでもいいですよ。



まだ怖いから手をつないで

遊びながら伏し浮きの感覚を身に付ける

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

「もぐる・浮く」は幼児期に経験がない場合がある。教師に見守られている安心感を満たしつつ、一人一人が満足感を味わい自信をもてるように、できたことを積極的に称賛していく。

### まとめ

整理運動をして、本時の学習のまとめを行う。



- ★楽しかった遊びやできるようになった動きを学習カードに書きましょう。
- カニ歩きで、水の中で息を吐きながら歩くことができるようになりました。
- 友達の手をつかまって、マントみたいに浮いているのが楽しかったよ。
- ★整理運動をしっかりと行いましょう。整理体操後はシャワーを浴びますよ。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 体育科 ゲーム

とのつながり



## 遊びを通した学び

オオカミ鬼…  
「♪森のこみち、散歩に行こう」友達と一緒に手を叩いて歌いながら、鬼の近くを走って回っている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

お面をつけた鬼（オオカミ）が「今からお出かけするところ！」と言ったら、鬼に食べられないように逃げ回る遊びです。鬼役と逃げ役のやり取りが楽しめるよう、保育者も遊びに加わりながら、簡単なルールのある遊びを通して、友達と一緒に遊ぶことのおよきを感じられるようにします。



## 遊びを通した学び

どんぐり投げ…  
「輪っかを通ったら成功ってことね！」園庭で拾い集めたどんぐりを、保育者の持つ輪をめがけて慎重に投げている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

どんぐりを拾っては、お金やごちそうに見立てたり、転がしたりと様々な遊びに用いる幼児たち。保育者が輪を持って構えとねらって投げる遊びが始まります。輪の高さや傾きを変えると、幼児は投げ方や力加減をいろいろと試すようになります。



## 遊びを通した学び

輪っか転がし…  
「誰のが一番遠くに転がるかな？」友達と「せえの」と声を掛け、競い合いながら、坂の上から輪を転がしている。



## 遊びを通した学び

シュート！…  
「どうやって投げるの？」友達に教えてもらいながら、両手でボールを持ってゴールめがけて放り上げている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

バスケットボール好きの幼児たちと一緒にゴールを模した輪を設置すると、ゴールめがけて両手でボールを投げ始めます。他の学級の幼児も投げ方を見て挑戦。失敗しても繰り返して、入ったときには満足感でいっぱい。十分な時間が大切です。



## 遊びを通した学び

「はっけよい、のこった！」のはずが…？線から出たら負け、というルールを確認したら、いつの間にか線の中を逃げ回る追いかっこを始めている。



## 遊びを通した学び

ドッジボール…  
「うまくよけられたよ！」ボールを投げる友達の動きから、ボールの行方を予想して逃げている。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 言葉による伝え合い

※これらの活動では他にも「健康な心と体」「自立心」「思考力の芽生え」「道徳性・規範意識の芽生え」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「ゲーム」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- ゲームの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること
- 簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること
- ゲームに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすること

## 幼児期の遊びを通した学び

的をめがけてボールを投げたり転がしたり、ボールを止めたり捕ったりする等、ボールを使って遊ぶ中で、動く物をよく見て動くようになります。

### 目標

- (知識及び技能) ボールゲームの行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをして遊ぶことができるようにする。  
 (思考力、判断力、表現力等) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。  
 (学びに向かう力、人間性等) ボールゲームに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

### 学習計画

- ①(オリエンテーション) 学習のねらいを知り、単元の学習の見通しをもつ。  
 ②③④「規則を工夫しながらゲームを楽しもう」 規則の工夫を考えながら易しいゲーム(的あてシュートゲーム)を楽しむ。  
 ⑤⑥⑦⑧「攻め方を選んでゲームを楽しもう」(本時) チームごとに攻め方を選んで易しいゲーム(的あてシュートゲーム)を楽しむ。  
 ※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### ボール慣れ

準備運動をして、ゲームにつながる運動遊びを行う。

- ★いろいろな部位をゆっくり伸ばしましょう。
- ★パスパスタイムです。チームの友達と二人組になって、パス交換をしてみましょう。
  - 相手が取りやすいパスを心がけることが大事だね。
  - 両手で投げたり、片手で投げたり、バウンドさせたり、いろいろなパスがあるね。
- ★ボールが怖い場合は、柔らかいボールを使ってもいいですよ。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

幼児期に経験した用具(ボール)を操作する動きを想起させながら、一人一人が安心してボールを投げたり捕ったりする動きを十分に行えるように、場や時間を設定する。

### ゲーム①

学習の進め方や規則、今日の対戦相手を確認し、ゲームを行う。

- ★攻撃は4人、守りは2人です。ボールは2つです。
- ★各チーム3分ずつ攻撃をします。これを2回繰り返します。
- ★的は3つ置きましょう。(一斗缶、段ボール、ペットボトル等)

### 攻め方を選んでゲームを楽しもう。

#### 【攻め方の例】

- ・足元シュート作戦…相手が守りにくいシュートをする
- ・となりにパス作戦…隣にいる味方にパスをして素早くシュートをする
- ・向こう側にパス作戦…反対側にいる味方にパスをして素早くシュートをする

- 4つの辺に1人ずつ立って攻撃しよう。
- パスをするペアを決めると、安心してパスの交換ができるね。
- 外しても責めないという約束をしたから、思い切って強く投げるようにしよう。



今だ、足元にシュート!

チームの攻め方を意識してゲームを楽しむ

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

ボール操作や友達との関わりに苦手意識を持っている子供には、使用するボールを工夫したり、チーム編成を工夫したりする等、その子供らしさを損なわないように支援する。

### 作戦タイム

ゲーム①を振り返り、気が付いたことや感じたことを友達に伝え、作戦を選び直す。

- ★もう一度、先程の相手と対戦します。ゲーム①を振り返り、作戦を選び直しましょう。
- ★同じ作戦でも、味方の立つ位置を変えたり、新たにシュート方法を加えたりしてもいいですよ。
  - 2人ずつペアになって、ペアの味方との距離を近くしよう。
  - 落ち着いてパスをキャッチしよう。キャッチしたら力いっぱい投げる。
  - 守るときはボールを持っている人との間に立つといいね。



こっちにパスだ!

向こう側にいる味方にパスを出す作戦

### ゲーム②

チームで攻め方を確認して、もう一度ゲームを行う。

- ★ゲーム中、先生はゲーム①で負けてしまったチームにアドバイスをしますね。
- ★先生は、ゲーム①で点を取らなかった友達にもアドバイスをしますよ。
  - 先生と一緒に動いて投げるタイミングを教えてくださいましたよ。
  - 同じ人ばかりでなく、いろいろな人がシュートをすれば、得点しやすいね。



### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。

- ★今日うまくできたことや、上手だった友達の動きを学習カードに書きましょう。
  - パス交換からのシュートがうまくいったので、気持ちよかったな。
  - さんは、パスをもらってから投げるのが早いので、真似したいです。
- ★違うチームの作戦も参考にしながら、次の時間も仲よくゲームを楽しみましょう。



### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

ゲームの結果や友達との関わりの中で感じた達成感、充実感、満足感、挫折感、葛藤等を、前向きに捉えるように声を掛け、次時への意欲を高める。

# 幼児期の 遊びを通した学び

と

# 体育科 表現リズム遊び

とのつながり



## 遊びを通した学び

チアガールごっこ…  
「ここは手を合わせるよ！」  
お客さんの前で、自分たちで考えた振りで踊る。みんなで声を掛け合ってこだわりのポーズを決めている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

保育室の一角に積んだ大型積み木を「ステージみたい」と思い付いた幼児の発言を受け止めます。保育者は、チアダンスの曲をいくつか用意したり、どんな衣装にしたいのかかいてみるよう提案したりしながら、自分たちで振りを考えて楽しむ幼児を支えます。



## 遊びを通した学び

発表会の衣装づくり…  
「こんなドレスを着て踊りたいの！」  
自分なりのイメージを絵や言葉で表し、実現に必要な材料を考えている。



## 遊びを通した学び

忍者ごっこ…  
「怪しい敵、発見！」と仲間と一緒に自作の武器を構えて立ち向かい、なりきることを楽しんでいる。



## 遊びを通した学び

衣装を身に付けアイドルごっこ…  
「私たち、月組のアイドルです！」と、おそろいのアクセサリを真真中に決めポーズをしている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

憧れのアイドル、見よう見まねで踊る幼児たち。一人がつくったプレスレットに「それいいね！」と他の幼児も色違いをつくります。日頃から遊びに必要なものをすぐにつくり始められるように場を整えておくことで、同じものを身に付けて仲間意識がぐっと高まっていきます。



## 遊びを通した学び

ヒーローショーごっこ…  
「ヒーローと悪者は順番こね！」客席で暴れる悪者役の友達を、長い剣を持ったヒーローが追いかけている。

### 主体的な学びを引き出す保育者の援助と環境の構成

休日に家族とヒーローショーを見た幼児が、友達に声を掛け遊びが始まります。どちらもヒーローになりたいけれど、悪者がいないとショーが盛り上がらないことも知っています。そこで、役を交代しながら行うことに。保育者は他の子供と一緒に客役になり、悪者を怖がったりしながらショーを盛り上げ、一体感が高まります。



## 遊びを通した学び

運動会の後に…  
「年長さんの踊りを踊ってみたい！」と年中児からリクエストされ、みんなと一緒に踊ることを楽しんでいる。

## 幼児教育を通して育まれた10の姿

- 協同性
- 豊かな感性と表現

※これらの活動では他にも「健康な心と体」「自立心」「社会生活とのかかわり」「言葉による伝え合い」などの姿も見えてとれますが、ここではあえて「表現リズム遊び」に深くつながるものだけを抜粋して記載しています。

## 小学校の各教科等における資質・能力とのつながり

- 表現リズム遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること
- 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること
- 表現リズム遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすること



## 幼児期の遊びを通した学び

身近な大人や動物、空想上のヒーロー等になりきって、動きを模倣して、体全体を使って表現することを楽しめます。

### 目標

- (知識及び技能) 表現遊びの行い方を知るとともに、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊って遊ぶことができるようにする。
- (思考力、判断力、表現力等) 身近な題材の特徴を捉えて踊る簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (学びに向かう力、人間性等) 表現遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

### 学習計画

- ①(オリエンテーション) 学習のねらいを知り、単元の学習の見通しをもつ。
- ②③④⑤「変身！生き物ワールド」(本時) いろいろな生き物に変身する表現遊び(生き物ワールド)を楽しむ。
- ⑥「生き物ワールド発表会」 一番気に入った題材と生き物を選んで発表会をする。  
※丸囲み数字は授業時数

## 【授業展開例】

### 準備運動

準備運動とリズムダンスで心と体をほぐす。

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

生き物という子供たちにとって身近なテーマを設定することで、子供たちの意欲を高めるとともに、全身で踊ることを通して本単元で身に付けさせたい動きを引き出す。



★教師

- ★今日は体を全部使いますよ。ゆっくり伸ばしましょう。(ゆったりとした曲に合わせて)
- ★リズムに合わせて、体をほぐしていきましょう。(軽快なリズムの曲に合わせて) まずは先生の真似をして踊ってみましょう。
  - 肩や腰を振ったり、体をねじったり回ったり、いろいろな動きが楽しいね。
  - 友達と手をつないで踊ったり、スキップしたりするのが楽しいな。

### 変身する

学習の進め方を確認し、表現遊びを行う。



★教師

- ★ペアの友達と一緒に、いろいろな生き物に変身してみましょう。
- ★今日は「ジャングルの生き物」に変身でしたね。どんな生き物がイメージできますか。
  - お腹をすかせたライオン
  - 水浴びをするゾウ
  - 木から木へ跳び移るサル
  - 昼寝をしているゴリラ

高く跳んだり、低く跳んだり



体全部を使って表現を楽しむ

## 変身！生き物ワールド。

- ★体育館中がジャングルだと思って、その生き物になりきって動きましょう。
- ★先生が「変身！」と声を掛けたら、違う生き物に変身してください。お気に入りの生き物を見つけてみましょう。



●児童



●児童

#### 【他の生き物ワールドの例】

##### 小さな生き物ワールド

→カマキリ、チョウ、ダンゴムシ、クモ、ハチ…

##### 水の中の生き物ワールド

→タコ、サメ、ザリガニ、クラゲ、カメ、アザラシ…

- 体全部を使って変身するよ。
- さんの動きが上手だから取り入れよう。
- どんな生き物になればいいか困ったら、先生が見つけたヒントカードに書いてある動物をやってみよう。
- 夢中になりすぎて、友達とぶつからないように気を付けなければいけないね。

- ★気に入った生き物の動きを見付けましたか？

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

教師やペアの友達に、自分の表現を受け止められることを通して、自分なりの動きで即興的に踊ることの楽しさに触れられるようにする。

### 工夫する

気に入った生き物の動きを工夫して楽しむ。



★教師

- ★気に入った生き物の動きに、「大変だ！○○だ！」などのお話を付けてみましょう。
  - 大変だ！崖から落ちて川に流れちゃったよ！
  - お腹がすいて倒れそうだったけれど、ごちそうを見つけたぞ。
  - 大変だ！ハチの大群が追いかけてくる！
- ★跳んだり、回ったり、ねじったり、這ったり、急に動く速さを変えたり、体全部を使えるといいですね。それでは、お気に入りの生き物に「変身！」



●児童

大変だ！争いが始まった！



お話をつくって動きを工夫する

### 見合う

お互いの動きを見合い、感想を交流する。



★教師

- ★クラスを半分に分けて半分ずつ変身してもらうので、見合って感想を伝えましょう。
  - さんは、指先や表情までトラになりきっていて、驚きました。
  - △△さんのペアは、急に動きが速くなって、大変な様子が伝わってきました。
- ★先生も、すてきな変身を見付けましたよ。例えば…

### POINT

#### 幼児期の学びを踏まえた指導の工夫

見合う時間を確保し、それぞれの表現を友達と認め合い、取り入れたり新たな表現を考えたりすることを楽しむ姿を称賛することで、次時への意欲を高める。

### まとめ

本時の学習をまとめ、次時への見通しをもつ。



★教師

- ★楽しかった表現や、上手だった友達の動きを学習カードに書きましょう。
  - タカになって、「台風で前に飛ばない！」が楽しかった。
  - 次は○○さんみたいに、跳んだり這ったりしながら表現したいです。



●児童

